

第5回古賀市基本構想審議会 議事要旨

【開催概要】

開催日時：令和3年6月11日（金）19：00～20：30

開催場所：市役所第1庁舎4階第1委員会室（オンライン併用）

出席者：

- （委員）南会長※、稲永副会長※、豊貞委員※、山田委員※、渡邊委員※、角森委員、木下委員、芝尾委員、清水委員※、高原委員※、玉谷委員※、中西委員、深江委員※、藤井委員※、松永委員※、三輪委員※、安武委員、吉田委員、石原委員※、荻原委員※、木村委員※、崎村委員※、柴田委員※、谷口委員※、内藤委員※、原田委員※、三戸委員※、宮基委員
- （古賀市）田辺市長、横田副市長、総務部長、市民部長、建設産業部長、総務課長、環境課長、農林振興課長、都市整備課長、古賀駅周辺開発推進室長、建設課長、上下水道課長、商工政策課長
- （事務局）経営戦略課長、経営戦略係長、経営戦略係員

（※についてはオンラインでの参加）

【議事・要旨】

1. 開会	
2. 会長あいさつ	
3. 議事 序論・基本構想案 (産業・経済分野、社会基盤・環境分野)について	<p><委員からの質問、意見></p> <p>○政策3-1 商工業・観光の活性化</p> <p>・施策1「活気とにぎわいを創り出す商工業の活性化」</p> <p>(1)【資料6】事前質問への回答No3の若者のアルバイト先や集う場がないことについて、市内事業者からの意見に加え、駅の利用者や通学する学生の意見も取り入れてほしい。</p> <p>→（回答）ご意見は大変重要であると認識している。古賀竟成館高校や福岡工業大学と連携し、古賀駅西口周辺散策にも取り組んでいる。今後もご意見を踏まえて取り組んでいきたい。</p> <p>(2)【資料6】事前質問への回答No3に古賀駅西口の活性化事業として「空き店舗をリノベーションし」と記載があり、基本構想の中には「にぎわいをつくり出す」とあるが、歩行者の安全という基本的な部分を検討する必要があるのではないか。</p> <p>→（回答）基本構想では現在の表現としているが、アクションプラン等ではより具体的に検討したい。</p> <p>・施策2「企業立地の促進と新たな雇用の創出」</p> <p>(1)法人市民税が福岡市に比べて高い。企業を誘致するために直接影響する施策を考えてはどうか。</p> <p>→（回答）法人市民税については持ち帰り回答したい。固定資産税については企業誘致を目的に減免している。</p> <p>・施策3「魅力あふれる観光の活性化」</p>

(1)「地域に潜在する資源を掘り起こし、磨き上げ、更にそれらを体験・活用することにより、地域の稼ぐ力を生み出し、潤いをもたらす価値を観光資源として活用する」という文章への修正を検討してほしい。さらに「発掘した資源を観光・物産・情報発信の拠点になるものの整備にも取り組みます」との文言を付け加えてほしい。
→ (回答) そういった視点を持って積極的に観光の活性化に取り組んでいく旨を表現しているが、ご意見も踏まえ検討したい。

○政策3-2 農林業の振興

(1)【資料6】事前質問への回答 No1 1 のコスモス館の移動販売について、当初補助金を活用して車両購入、運営をしてもらっていたと聞いている。現在は経営判断から実施していないとのことだが、地域のインフラとして良い取組であると考えため、行政が支援できないのか。
→ (回答) 車両については今後の活用も検討されていると聞いている。高齢者など、買い物に不便を感じている方がいらっしゃることも、民間による移動販売が広がっていることも認識している。車両の活用については今後の動向を注視していきたい。

○政策4-1 良好な都市環境の形成

(1)政策の目的に「新たな玄関口となるJR古賀駅周辺」とあるが、いつから新しくなるのか。
→ (回答) 特に古賀駅東口を中心に開発を計画中である。駅周辺が生まれ変わるという意味を込めて「新たな」と記載している。

(2)古賀駅東口の開発については10年間の開発ということだが、地元住民の声を聞きながら進めていくとの認識でよいか。
→ (回答) 住民の声を丁寧に聞きながら事業を進めていきたい。

(3)政策の目的が2つあるが道路の問題は古賀市にとって極めて大きいため政策の目的に追加してほしい。
→ (回答) 道路整備は上段の目的「利便性の高い生活環境」の中に含まれていると考えているが、ご指摘の内容を踏まえ検討したい。

・施策3 「快適な道路網の整備」

(1)古賀駅周辺の国道495号沿いは歩道がないため狭く、危ないため、改善点として検討してほしい。
→ (回答) 国道495号に歩道がないことによる危険は課題として認識している。詳細は今後アクションプラン等で検討していく。

(2)ユニバーサルデザインに配慮した道路整備との記載があるが、計画に記載するだけでなく、ユニバーサルデザインに配慮した道路整備をお願いしたい。
→ (回答) ユニバーサルデザインに配慮した道路整備を推進していきたい。

(3)「誰もが快適に移動できるよう」とあるが、快適性等を検討するにあたり住民の意見を取り入れるという文言が必要ではないか。

→ (回答) ご意見を踏まえ検討させていただきたい。

・施策5「下水道の整備と経営基盤の強化」

(1)下水管の老朽化の問題は非常に大事。水の排出について、環境保全の観点からしっかりと記載いただきたい。過去にあった大根川の氾濫等の水の災害対策についても記載いただきたい。

→ (回答) 古賀市は早く下水道の整備を開始したため老朽化しているのは事実であり、急いで更新を進めている。今後は施設の統合、あるいは別の手法での下水処理等取り入れながら実施していきたい。大根川については県と協議会ができたばかりなのでこれから対策が進められていくものと考えている。

○政策4-2 持続可能な公共交通の実現

・施策1「持続可能な公共交通のネットワークの確立」

(1)新たな技術を活用した公共交通サービスとあるがわかりにくい。AI オンデマンドバスの活用を研究されているとのことだが、もしそのような想定があるなら具体的に記載してはどうか。

→ (回答) お見込みのとおり、AI オンデマンドバスを想定している。ご意見を踏まえ表現を検討したい。

(2)快適な道路網と公共交通は深い関係があり、道路網に変化があると公共交通の手段も広がる。公共交通と道路網整備を連携するということを記載してほしい。

→ (回答) 指摘の通り公共交通と道路網は関わりが深いため表現について検討したい。

○序論「現状と課題」環境分野

(1)ESGに言及されているが、企業に任せているように感じる。企業の取組を支援するような行政の関わり方が表現できないか。

→ (回答) ESGについてはご意見を参考に表現を検討する。

○政策4-4 環境の保全と継承

・施策2「資源を有効に活用する循環型社会の形成」

(1)【資料6】事前質問への回答No21について、リサイクルに頼らずに2Rを進めるという考え方もある。環境負荷という面では2Rの方が良いと考えるが、検討されたうえで4Rを推進するという事か。

→ (回答) ご指摘の通り、リサイクルにはエネルギーが必要である。2Rという考え方もあるが、リサイクルが現在行われている前提でごみの発生を断つというリフューズを強調したく、あえて4Rとしている。

	<p>(2)古賀市役所前で土曜日に分別収集をされているが、福津市は積極的にサイズの大きいもの等を回収してくれる。粗大ごみについて、古賀市は有料だが福津市は無料で出せると聞いており確認してほしい。古賀市では持ち込めるゴミのサイズについても融通が効かないため、検討してほしい。</p> <p>→（回答）市役所前の分別収集について、利用者の意見の聞き取りを進めながら利用状況の改善に努めている。福津市では大きなごみも分別収集において回収することだが、古賀市はコンテナに入らないごみは粗大ごみとして回収している。福津市はそういった制度がないため、分別収集会場に粗大ごみを持っていくこととなっている。自治体によりサービスの区分等が違うのでご理解いただきたい。</p> <p>・施策5「私たちにできる地球温暖化の防止」</p> <p>(1)「適応策」について詳細はアクションプランに記載されると思うが、どういうことが古賀市にとって適応策になるのか、ここで言葉を補っても良いのではないか。</p> <p>→（回答）適応策について、緩和策と適応策は密接な関係と考える。適応策は具体例も含めてわかりやすい表現となるよう検討する。</p>
4. その他	
5. 閉会	事務局：次回の審議会の日程及び説明